作成日：2023年11月22日
改訂日：2026年 3月27日

安全データシート

１．化学品及び会社情報

化学品名	ダンクショット２００ＳＤ粒剤
製品コード	BHCE
会社名	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都千代田区神田練塀町３番地
担当部門	安全環境・品質保証室
電話番号	03-6867-8313
FAX 番号	03-6867-8330
緊急連絡先	03-6867-8313
推奨用途	農薬（除草剤）
使用上の制限	農薬登録内容以外の使用は不可
整理番号	１５１２－３０

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

(物理化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	区分に該当しない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分に該当しない
急性毒性：経皮	分類できない
急性毒性：吸入（気体）	区分に該当しない
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉じん）	分類できない

急性毒性：吸入（ミスト）	区分に該当しない
皮膚腐食性／刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分１
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	区分２
発がん性	区分１Ａ
生殖毒性	区分２ 追加区分：授乳に対するまたは授乳を介した影響
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分１（呼吸器、免疫系、腎臓） 区分２（消化器）
誤えん有害性	分類できない

（環境に対する有害性）

水生環境有害性　短期（急性）	区分１
水生環境有害性　長期（慢性）	区分１
オゾン層への有害性	分類できない

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語		危険
危険有害性情報		重篤な眼の損傷 遺伝性疾患のおそれの疑い 発がんのおそれ 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 授乳中の子に害を及ぼすおそれ 長期にわたる、又は、反復ばく露による臓器の障害（呼吸器、免疫系、腎臓） 長期にわたる、又は、反復ばく露による臓器の障害のおそれ（消化管） 水生生物に非常に強い毒性 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
注意書き	安全対策	使用前に取扱い説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。 取扱い後は手、顔及び眼をよく洗うこと。

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
必要なとき以外は環境への放出を避けること。

応急措置　眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察/手当てを受けること。
気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
漏出物を回収すること。

保管　施錠して保管すること。

廃棄　内容物、容器を法、条例に従って廃棄すること。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別　混合物

化学名又は一般名　カフェンストロール・フロルピラウキシフェンベンジル・ベンゾビシクロン粒剤

成分及び濃度（含有率）

(成分)	(化学名／化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
＜成分①＞ ベンゾビシクロン	3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-2-フェニルチオビシクロ[3.2.1]オクタ-2-エン-4-オン ／$C_{22}H_{19}ClO_4S_2$	10.0 %	156963-66-5	7-(2)-168	－
＜成分②＞ カフェンストロール	N,N-ジエチル-3-メシチルスルホニル-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド／$C_{16}H_{22}N_4O_3S$	15.0 %	125306-83-4	8-(3)-834	－
＜成分③＞ フロルピラウキシフェンベンジル	ベンジル 4-アミノ-3-クロロ-6-(4-クロロ-2-フルオロ-3-メソキシフェニル) -5-フルオロピリジン-2-カルボキシレート ／$C_{20}H_{14}Cl_2F_2N_2O_3$	2.5 %	1390661-72-9	8-(1)-4461	－
＜成分④＞ 界面活性剤、鉱物質微粉等	営業秘密	72.5 %	営業秘密	営業秘密	営業秘密

安衛法　表示・通知義務対象物質

(成分)	(化学名／化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
結晶質シリカ (成分④に含有)	二酸化ケイ素／SiO_2	20 - 30 %	14808-60-7	既存物質	(1)-548
カフェンストロール	N,N-ジエチル-3-メシチルスルホニル-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド／$C_{16}H_{22}N_4O_3S$	15.0 %	125306-83-4	8-(3)-834	－

【令和８年４月１日以降】安衛法　表示・通知義務対象物質

(成分)	(化学名／化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)
ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム (成分④に含有)	ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート ／$C_{20}H_{37}NaO_7S$	>=1 - <3 %	577-11-7	―	(2)-1805

４．応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。直ちに医師に連絡する。
皮膚に付着した場合	多量の水で洗う。皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合、医師の診察/手当てを受ける。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。清浄な水で数分間眼を洗浄した後、直ちに眼科医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄する。無理に吐かせない。直ちに医師の診察/手当てを受ける。

５．火災時の措置

適切な消火剤	粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、霧状水
使ってはならない消火剤	情報なし
火災時の特有の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水等が含まれる。
特有の消火方法	消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク)を着用し、風上から消火活動を行う。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	漏出時の処理を行う際には、必ず保護手袋、保護眼鏡、保護マスク、保護衣等を着用し、眼や皮膚に付着しないようにする。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川・湖沼等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	粉末等が床面等にこぼれた場合は、直ちに掃き取り、空容器に収納する。その後水で洗い流す。
二次災害の防止策	情報なし

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	取扱いは換気のよい場所で行う。眼、皮膚、衣類に付着させないこ

と。

安全取扱注意事項	容器の破損や漏洩に注意する。
接触回避	情報なし
衛生対策	取扱い後は、手、顔、眼等をよく洗い、うがいをする。
保管	
安全な保管条件	換気の良い冷暗所に密閉し、施錠して保管する。
安全な容器包装材料	情報なし

８．ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	
管理濃度	E＝3.0/(1.19Q＋1) （mg/m^3）
	E：管理濃度
	Q：遊離ケイ酸含有率（%）
許容濃度	吸入性結晶質シリカ、石英（結晶質シリカ）
	日本産業衛生学会勧告値（2018年度） 吸入性粉じん 0.03 mg/m^3
	ACGIH（TLV-TWA）吸入性粉じん0.025 mg/m^3
	総粉じん
	日本産業衛生学会勧告値（2018年度） 吸入性粉じん 0.5 mg/m^3
	日本産業衛生学会勧告値（2018年度） 総粉じん 2.0 mg/m^3
設備対策	粉じんが作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置や密閉化又は全体換気を適正に行う。
	取扱い場所の近くに眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置する。
保護具	
呼吸用保護具	防じんマスク
手の保護具	保護手袋
眼、顔面の保護具	ゴーグル型保護眼鏡、顔面シールド
皮膚及び身体の保護具	保護衣（長袖、長ズボン）、安全靴
特別な注意事項	情報なし

９．物理的及び化学的性質

物理状態	固体（細粒）
色	類白色
臭い	データなし
沸点	データなし
可燃性	データなし
分解温度	データなし
ｐＨ	8.5～11（１%水溶液）
溶解度	水中で自己分散する
蒸気圧	データなし
密度（比重）	データなし
粒子特性	データなし
かさ密度	0.4～0.5（見掛け比重）

10．安定性及び反応性

反応性	通常の取扱いでは反応性なし

化学的安定性	適切な保管条件では安定
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、塩化水素等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性	経口LD_{50}	＜製品＞ ＞2,000 mg/kg（ラット）（区分に該当しない）
	経皮LD_{50}	＜製品＞ データ不足（分類できない） ＜成分①＞ ベンゾビシクロンについては ＞2,000 mg/kg（ラット） ＜成分②＞ カフェンストロールついては ＞2,000 mg/kg（ラット） ＜成分③＞ フロルピラウキシフェンベンジルについては ＞5,000 mg/kg（ラット） ＜成分④＞ 界面活性剤、鉱物質微粉等の一部についてATEmix 13,000 mg/kg
	吸入LC_{50}	＜製品＞ データ不足（分類できない） ＜成分①＞ ベンゾビシクロンについては ＞2.72 mg/L（ラット） ＜成分②＞ カフェンストロールついては ＞1.97 mg/L（ラット） ＜成分③＞ フロルピラウキシフェンベンジルについては ＞5.23 mg/L（ラット）
皮膚腐食性／刺激性		＜製品＞ 陰性（ウサギ）（区分に該当しない）
眼に対する重篤な損傷性／刺激性		＜製品＞ 中程度の眼刺激性（ウサギ）（区分１）
呼吸器感作性		＜製品＞ データなし（分類できない）
皮膚感作性		＜製品＞ 陰性（モルモット）（区分に該当しない）
生殖細胞変異原性		＜製品＞ データなし ＜成分①＞ ベンゾビシクロンについてはAmes、Rec-assay、小核試験は陰性 ＜成分②＞ カフェンストロールついてはAmes、染色体異常、小核試験は陰性 ＜成分③＞ フロルピラウキシフェンベンジルについてはin vitro遺伝毒性試験・in vivo動物遺伝毒性試験は陰性 ＜成分④＞ 界面活性剤、鉱物質微粉等の一部について区分２の成分 結晶質シリカを≧1.0%含有することから、製品として区分２に分類した。
発がん性		＜製品＞ データなし ＜成分①＞ ベンゾビシクロンについては陰性 ＜成分②＞ カフェンストロールについては陰性 ＜成分③＞ フロルピラウキシフェンベンジルについては陰性 ＜成分④＞ 界面活性剤、鉱物質微粉等の一部について区分１Ａの成分 結晶質シリカを≧1.0%含有することから、製品として区分１Ａに分類した。
生殖毒性		＜製品＞ データなし ＜成分①＞ ベンゾビシクロンについては２世代繁殖試験で影響なし。 ＜成分②＞ カフェンストロールついては２世代繁殖試験で妊娠期間

短縮、出産児数減少が認められた（区分２）
＜成分③＞ フロルピラウキシフェンベンジルについては区分外
＜成分④＞ 界面活性剤、鉱物質微粉等の一部について区分２の成分を含有するが、含有率は3.0%未満。追加区分に該当する成分を0.3%以上含有（追加区分）
製品としては区分２の成分 カフェンストロールを≧3.0%含有することから区分２、追加区分に該当する成分を0.3%以上含有することから（追加区分）に分類した。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）
＜製品＞ データなし（分類できない）
＜成分①＞ ベンゾビシクロンについては区分外
＜成分②＞ カフェンストロールについては区分外
＜成分③＞ フロルピラウキシフェンベンジルについては区分外
＜成分④＞ データ不足

特定標的臓器毒性（反復ばく露）
＜製品＞ データなし
＜成分①＞ ベンゾビシクロンについては区分外
＜成分②＞ カフェンストロールついては13週反復投与（ラット、マウス）において空腸絨毛上皮細胞の軽度な空胞化が認められたことから区分２（消化管）に分類した。製品として区分２（消化管）に分類した。
＜成分③＞ フロルピラウキシフェンベンジルについては陰性
＜成分④＞ 界面活性剤、鉱物質微粉等の一部について区分１（呼吸器、免疫系、腎臓）の成分 結晶質シリカを≧10%含有することから、製品として区分１（呼吸器、免疫系、腎臓）に分類した。

誤えん有害性
＜製品＞ データなし（分類できない）

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類：	コイ	LC_{50} (96 hr)	9.6 mg/L
甲殻類：	オオミジンコ	EC_{50} (48 hr)	20.4 mg/L
藻類又はその他の水生植物：	ムレミカヅキモ	ErC_{50}(0-72 hr)	0.0116 mg/L
		NOEC	0.001 mg/L

水生環境有害性 短期（急性） ムレミカズキモのErC_{50}の結果から区分１とした。

水生環境有害性 長期（慢性） ムレミカズキモのNOECの結果および急速分解性が明らかでないことから区分１とした。

残留性・分解性 情報なし

生体蓄積性 情報なし

土壌中の移動性 情報なし

オゾン層への有害性 情報なし（分類できない）

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物 関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

空容器、空袋、汚染容器等 内容物を完全に除去し、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に処理を委託するこ

と。

14. 輸送上の注意

国連番号	UN 3077
品名（国連輸送名）	環境有害物質、固体、他に品名が明示されていないもの（カフェンストロール・フロルピラウキシフェンベンジル・ベンゾビシクロン混合物）
国連分類	クラス9
容器等級	Ⅲ
海上輸送	IMO/IMDGの規定に従う。
航空輸送	ICAO/IATAの規定に従う。
海洋汚染物質	該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	輸送前に容器の破損、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。輸送容器には衝撃を与えないように丁寧に取扱う。転倒させたり、激突させたりしない。
国内規制	
陸上輸送	規制されていない
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。
応急措置指針番号	171

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号：第24705号
化学物質排出把握管理促進法（化管法）	「3-(2-クロロ-4-メシルベンゾイル)-4-フェニルスルファニルビシクロ[3.2.1]オクタ-3-エン-2-オン（別名 ベンゾビシクロン)」第一種指定化学物質（管理番号 621）(10%)
	「N,N-ジエチル-3-(2,4,6-トリメチルフェニルスルホニル）-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド（別名 カフェンストロール)」第一種指定化学物質（管理番号 148）(15%)
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物 法第57条、施行令第18条 名称等を通知すべき危険物及び有害物 法第57条の2、施行令第18条の2：結晶質シリカ、N,N-ジエチル-3-(2,4,6-トリメチルフェニルスルホニル）-1H-1,2,4-トリアゾール-1-カルボキサミド（別名 カフェンストロール)
	安衛則第577条の2第3項に規定するがん原性物質：結晶質シリカ（石英) 粉じん障害予防規則（但し、該当する粉じん作業がある場合） 【改正後 令和８年４月１日以降】 名称等を表示すべき危険物及び有害物法 第57条、施行令第18条 名称等を通知すべき危険物及び有害物 法第57条の2、施行令第18条の2：ナトリウム=1,4-ビス[(2-エチルヘキシル)オキシ]-1,4-ジオキソブタン-2-スルホナート
毒物及び劇物取締法	毒物・劇物に該当しない。
消防法	消防法危険物に該当しない。

化審法	第一種特定化学物質、第二種特定化学物質を含有しない。
船舶安全法	有害性物質　等級9
航空法	その他の有害物件　分類番号9
海洋汚染防止法	法第38条第1項第4号 ・海洋環境に特に悪影響を及ぼすもの 海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律施行規則 第30条の2の3の物質を定める告示(国交省告示第1537号 平成20年12月26日) ２ 危告示別表第1備考2(8)の環境有害物質の判定基準に該当するもの

16. その他の情報

参考文献、資料等：

- ベンゾビシクロン 安全データシート （株）エス・ディー・エス バイオテック
- カフェンストロール原体（グラチトール） 安全データシート （株）エス・ディー・エス バイオテック
- リンズコア™ 原体 安全データシート コルテバ・アグリサイエンス（株）

™ コルテバ・アグリサイエンスならびにその関連会社商標

記載内容の取扱い：

- 記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- 記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅されているわけではありません。
- 新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。